

千葉市建設業協会による「土のうステーション」寄贈について

このたび、千葉市建設業協会から浸水対策に役立てることを目的として、土のうステーション 1 基を寄贈していただくこととなりました。

つきましては、その贈呈式を開催いたしますので、お知らせします。

1 日 時

平成 29 年 9 月 8 日（金） 11 時 30 分から

2 場 所

市役所 3 階 市長応接室

3 出席者

（1）寄贈側

一般社団法人 千葉市建設業協会 副会長 佐々木 利武（ささき としたけ）
副会長 西原 在弘（にしはら ありひろ）
常務理事 山本 修三（やまもと しゅうぞう）

（2）市 側

市長、建設局長、土木部長、中央・美浜土木事務所長

4 寄贈品

土のうステーション 1 基（25 万円相当）

5 寄贈品の設置場所

J R 蘇我駅 東口駅前広場

6 その他

- （1）土のうとは袋の中に土砂を詰めて用いる土木資材で、これを積み上げることで、応急措置として浸水被害を軽減させます。
- （2）土のうステーションには、土のうが全部で約 100 袋入っており、必要となる場合には、24 時間いつでも誰でも土のうを持ち出せるようになっています。
- （3）土のうステーションの寄贈は今回が初めてで、これにより市内で 20 箇所の設置となります。